

国際日本文化研究センター 一般公開 所蔵資料展示

江戸の大地震と鯰絵



開催日：平成23年10月27日（木）

会場：国際日本文化研究センター 講堂ホワイエ

出展目録 ～江戸の大地震と鯰絵～

① 安政大地震と鯰絵 I

安政二年（1855年）10月に起こった安政大地震直後の状況が描かれている。

1. 【瓦版】関東大地震焼場所附
2. 地震用心の歌
3. 地震冥途ノ図

② 安政大地震と鯰絵 II

4. 大合戦図
5. （地震院火事落涙山非常明王開扉木札）

③ 鹿島明神と要石(かなめいし)

古来より鹿島明神は、「要石」で地下にいる大鯰を押さえ、地震が起きるのを防いでいるといわれており、「鯰絵」には、鹿島明神や要石が多く登場する。

6. （鹿島要石真図）
7. （鯰と要石）
8. おそろ感心要石
9. あんしん要石

④ 鯰へのこらしめ

地震によって被害を受けた人々が、地震の原因となった鯰をこらしめる姿が描かれている。

10. しんよし原大なまづゆらひ
11. （太平の御恩沢に）
12. 江戸前かばやき鯰大火場焼



⑤ 鯰の謝罪

鯰が、鹿島大明神や庶民へ謝罪する姿が描かれている。鯰だけでなく、鹿島大明神の留守中を守れなかった恵比寿が謝罪しているものもある。

13. (あら嬉し大安日にやり直す)
14. 恵比寿天申訳之記
15. 安政天下太平
16. 地震のまもり

⑥ 持丸長者と職人たち

家屋敷を失い、施金まで出したため損をした金持ち(持丸長者)と、復興景気で仕事が増え儲けた職人たちの対照的な姿が描かれている。

17. 持○長者
18. (福助・恵比寿・大黒・閻魔の子/福神長者を諭す)
19. じしん百万遍
20. 難義鳥

⑦ 仮宅繁盛

吉原も被災したため、市内に仮営業所である「仮宅(かりたく)」が設けられた。普段は吉原に入出入りできない職人たちが押しかけ、繁盛した様子が描かれている。

21. 治る御代ひやかし鯰
22. なんちうやかぢ仮宅

⑧ 鯰様と福の神

震災から日が経つにつれ、「世直し」への期待感のある絵が出回るようになった。地震で儲けた人たちが鯰を拝んだり、鯰を福の神とする様子が描かれている。

23. 頃ハ安政二乙卯年神無月二日の夜大地震ニつ木
24. 万歳楽身の用心
25. 大鯰江戸の賑ひ
26. 鹿島恐

⑨ さまざまな絵柄 I

鯰絵の画題には、大津絵、首引、じゃんけん、流行歌といった当時の文化や流行を元にしたものもある。なかでも「歌舞伎」を題材にしたものは多く描かれた。

- 27. 地しんどう化大津ゑぶし
- 28. (鯰と鹿島大明神の首引)

⑩ さまざまな絵柄 II

- 29. 聖代要石治 万歳楽のつらね
- 30. 玉屋地新兵衛桶伏の段 火夜苦の門並
- 31. 地震けん
- 32. 地震のすちやらか

⑪ その他の出版物

地震鯰や安政大地震にまつわる錦絵以外の資料を展示

- 33. 大雑書
- 34. 安政見聞誌 3巻 / 一勇齋國芳ほか画
- 35. 江戸大地しん末代噺の種

(参考文献)

- 宮田登 高田衛監修『鯰絵：震災と日本文化』里文出版，1995
- 北原糸子著『地震の社会史：安政大地震と民衆』講談社，2000
- 野口武彦著『安政江戸地震：災害と政治権力』筑摩書房，1997
- 小野武雄著『吉原と島原』講談社，2002
- 海野一隆著『東洋地理学史研究（日本篇）』清文堂出版，2005

